

科目名	宗教哲学特殊研究	担当者	コサカ 小坂 クニツグ 国継	期間	通年	単位数	4
-----	----------	-----	-------------------	----	----	-----	---

【科目概要】

目的	<p>宗教と倫理はもっとも近接した領域です。倫理をもたない宗教はないし、宗教とまったくかかわることのない倫理というものもありません。このように宗教と倫理は相互に密接に関連していますが、しかし同時に、両者の間には根本的に相容れないいくつかの要素があります。この講座は、宗教と倫理の異同について、種々の文献をもとにし、さまざまな観点から比較・対照することを通して、宗教の本質を明らかにし、宗教と倫理や道徳との違いを明確に理解することを目的としています。また、それと関連して、人生の意義や人間の生き方について、真剣に、かつ主体的に考えることを眼目としています。特に宗教哲学においては世界と人生について深い洞察力を身に付け、それを論理的に表現する能力を養うことがもとめられています。</p>		
到達目標	<p>【一般目標 (GIO)】 宗教と倫理との異同について明確な知識を獲得し、そうした知識を現実の生活に応用できるようになること。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 レポートの作成にあたっては、基本教材および参考図書の読解に 25 時間以上、Manaba-Folio へのレポートの初稿から最終稿の提出にいたるまでのやり取りに 20 時間以上を目安としてください。</p>		
学修方略 (方法)	<p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 Manaba-Folio を用いたインタラクティブな添削等を実施します。</p> <p>【学修方略 (LS)】 基本教材を読みこなすにはかなりの時間がかかると思われます。早めに読み始め、いくつかの参考書などを併読することを薦めます。疑問点が生じたら、分からないままに放置しないで、そのつどメールで気軽に質問をしてください。できるだけ早く返事をいたします。 哲学はほかの学問と較べると、文章が難しく、専門用語が理解づらいと思います。哲学辞典などを傍らにしながら、繰り返しテキストを読み返すことを推奨します。</p>		
スケジュール	<p>大学院事務課から指定されるレポート締め切り機関に留意して、最終原稿は指定期間内に提出できるようにしてください。</p> <p>レポートの締め切り間際になってから初稿を提出されると、添削が行き届かない場合も生じます。初稿はなるべく夏休み始め頃までには仕上がるようにしてください。何事も早め早めにおこなうことが肝要です。なお、一度も草稿の添削を受けないで、いきなり最終稿を提出することは認めません。</p> <p>以上のことは後期のレポートについても同様です。冬休み前には、現代哲学の諸動向を自分なりに俯瞰できるよう努力してください。</p>		
成績評価	種別	割合	評価基準
	レポート	80%	①基本教材をよく勉強しているか、②レポートの内容が首尾一貫しているか、③単なる思いつきではなく、書いている内容に裏づけがあるか、④論旨が明快であるか、⑤日本語の文章として美しいか、等の観点から総合的に評価します。
	平常評価	20%	メールでの質疑応答や草稿の提出回数の多寡、あるいはメールのやり取りなどを通して窺われる研究態度などが評価の対象になります。
履修者への要望	<p>履修者は2つのレポートのテーマを自由に選択することができますが、自分が選択しなかったテーマについての自分の知識や考えを何らかの形でレポートのなかに反映させるようにしてください。</p>		

【レポート課題】

基本教材 1	
教材の概要	著者名： 小坂国継 教材名： 『倫理と宗教の相剋』（ミネルヴァ書房，2009年）ISBN:978-4-623-05518-0 3500円＋税
	宗教と倫理の関係について、『ヨブ記』、『歎異抄』、カントの道徳神学、ニーチェのニヒリズム、キルケゴールの実存哲学、ロールズの『正義論』などを手がかりに、さまざまな側面から考察した書物です。この方面の数少ない文献の一つで、宗教の本質を知る上で有益な著作だと思念します。
参考図書	参考図書として多くの文献をあげることができます。その一々を紹介することはできませんが、インターネットで検索し、実際に書店で手に取って見て、自分のニーズに合ったものを読むとよいと思います。
履修上のポイント	まずテキストを熟読し、その上でテキストの各章のテーマに該当する啓蒙的な参考図書を自分で調べて読んでください。その上で、必要だと思われる場合は、特定の専門的な研究書を読むことを薦めます。こうして十分な準備を整えてから、最後に、自分の意見をまとめるようにしてください。レポートの作成に当たっては、与えられたテーマに対して自分の考えを述べるという主体的姿勢を崩さないようにしてください。
レポート課題 1	「宗教と倫理の異同について論じなさい」(1)。テキストの一つの章あるいは関連する複数の章を手がかりにしながら、自分の考えを述べなさい。  <b>留意点：</b> テキストを細部にわたって精読していることが窺えるようになりポートになるよう心がけること。
レポート課題 2	「宗教と倫理の異同について論じなさい」(2)。 リポート課題 1 とは別の著作あるいは思想家を選択すること。  <b>留意点：</b> テキストを細部にわたって精読していることが窺えるようになりポートになるよう心がけること。

基本教材 2	
教材の概要	著者名： 小坂国継 教材名： 『東洋的な生きかた』（ミネルヴァ書房，2008年） ISBN:978-4-623-05139-7 3500円＋税
	人間中心主義的な西洋とは違った、無為自然の東洋的な生きかたを、老子、荘子、親鸞、道元、良寛の生涯や思想を手がかりに、種々の側面から考察した書物です。同じく「無為自然」といっても、さまざまな形態があることを明らかにするのが、本書の目的の一つになっています。
参考図書	参考図書として多くの文献をあげることができます。その一々を紹介することはできませんが、インターネットで検索し、実際に書店で手に取って見て、自分のニーズに合ったものを読まれるとよいと思います。
履修上のポイント	まずテキストを熟読し、その上でテキストの各章のテーマに該当する啓蒙的な参考図書を自分で調べて読んでください。その上で、必要だと思われる場合は、特定の専門的な研究書を読むことを薦めます。こうして十分な準備を整えてから、最後に、自分の意見をまとめるようにしてください。レポートの作成に当たっては、与えられたテーマに対して自分の考えを述べるという主体的姿勢を崩さないようにしてください。
レポート課題 1	「東洋的な生きかたについて論じなさい」(1)。テキストの一つの章あるいは関連する複数の章を手がかりにしながら、自分の考えを述べなさい。  <b>留意点：</b> テキストを細部にわたって精読していることが窺えるようになりポートになるよう心がけること。
レポート課題 2	「東洋的な生きかたについて論じなさい」(2) リポート課題 1 とは別の著作あるいは思想家を選択すること。  <b>留意点：</b> テキストを細部にわたって精読していることが窺えるようになりポートになるよう心がけること。